

# 札幌圏・後志圏中小企業景気動向調査

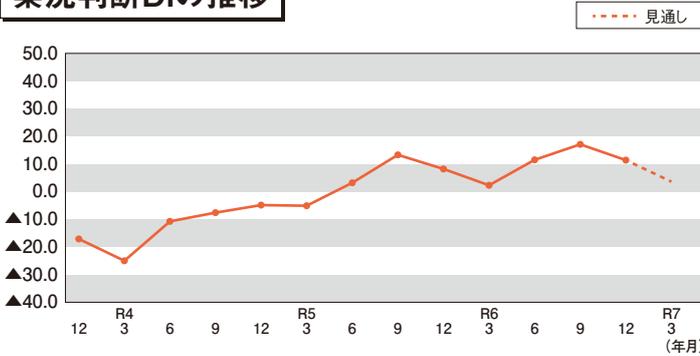
## 調査の概要

- 調査時期：令和6年12月2日～6日
  - 調査対象：札幌圏(札幌、石狩、空知) 後志圏(後志、渡島)
  - 対象企業数：当金庫のお取引先340社  
回答数340社(札幌圏235社・後志圏105社) 回答率100%
  - 分析方法：DIを中心とした分析。  
DI=「良い・増加・上昇した先の割合」-「悪い・減少・下降した先の割合」  
DI>0→良い・増加・上昇 DI<0→悪い・減少・下降
  - その他：「2025年(令和7年)の経営見通し」
- ※DI(景気動向指数)値とは、景気の動きをとらえるための指標であり、良いと回答した企業の割合から、悪いと回答した企業の割合を減じた数値。景気動向の変化の方向性をみるものです。

## 全業種総合

### 札幌圏・後志圏

#### 業況判断DIの推移



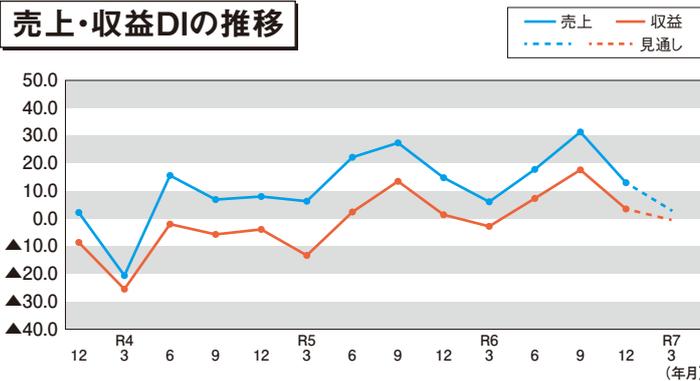
コメント



#### ○業況判断DI～低下↓

- ・今期は11.4と前期から5.7ポイント低下した。
- ・来期は今期から7.8ポイント低下する見通し。

#### 売上・収益DIの推移



コメント



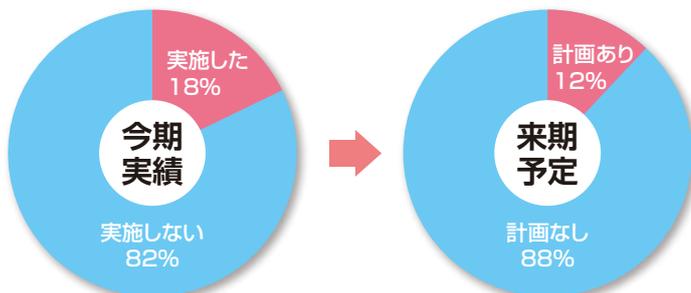
#### ○売上DI～低下↓

- ・今期は13.0と前期から18.2ポイント低下した。
- ・来期は今期から10.2ポイント低下する見通し。

#### ○収益DI～低下↓

- ・今期は3.5と前期から14.0ポイント低下した。
- ・来期は今期から4.0ポイント低下する見通し。

#### 設備投資動向

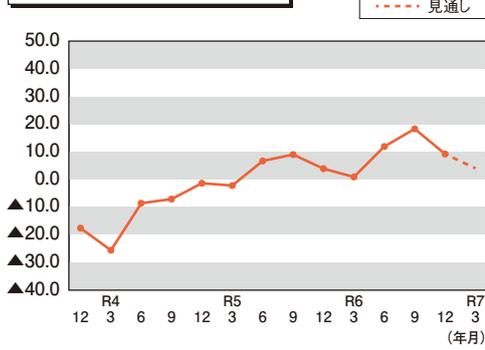


経営上の問題点(複数回答)	今期 (%)	前期 (%)
人手不足	35.9	32.9
原材料高	28.8	29.1
売上の停滞・減少	22.1	21.2

当面の重点施策(複数回答)	今期 (%)	前期 (%)
経費を節減する	51.5	48.2
人材を確保する	37.6	36.8
販路を広げる	28.8	30.3

# 札幌圏

## 業況判断DIの推移



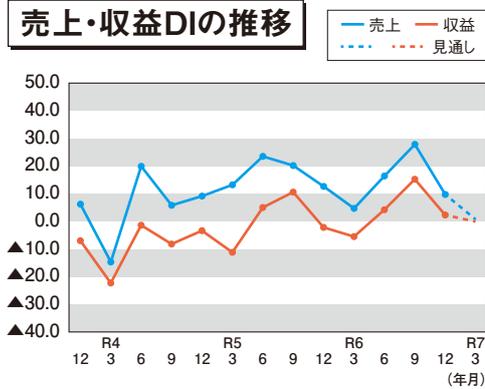
### コメント



### ○業況判断DI～低下↓

- ・今期は9.2と前期から9.1ポイント低下した。
- ・来期は今期から5.2ポイント低下する見通し。

## 売上・収益DIの推移



### コメント



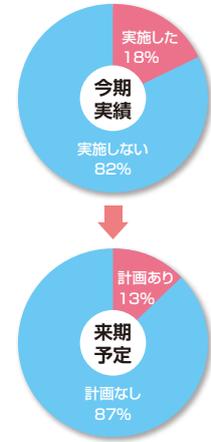
### ○売上DI～低下↓

- ・今期は10.0と前期から17.7ポイント低下した。
- ・来期は今期から9.3ポイント低下する見通し。

### ○収益DI～低下↓

- ・今期は2.3と前期から12.8ポイント低下した。
- ・来期は今期から2.4ポイント低下する見通し。

## 設備投資動向



(%)

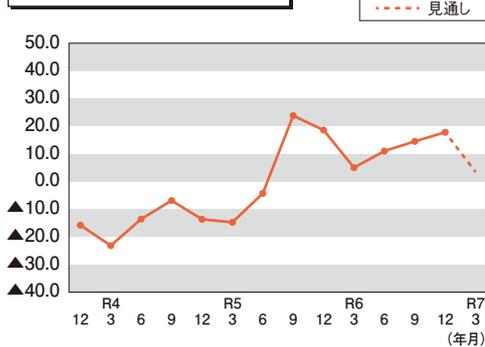
経営上の問題点(複数回答)	今期	前期
人手不足	34.0	29.8
原材料高	26.0	28.1
売上の停滞・減少	25.5	—

(%)

当面の重点施策(複数回答)	今期	前期
経費を節減する	50.6	45.5
人材を確保する	36.6	36.6
販路を広げる	32.3	32.3

# 後志圏

## 業況判断DIの推移



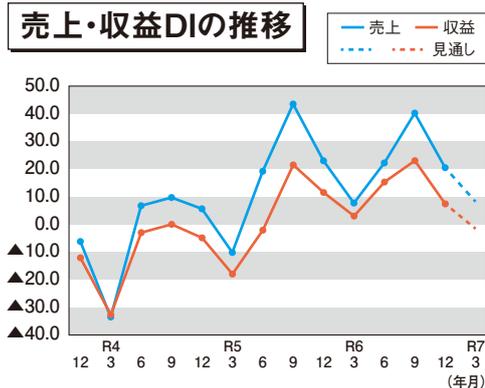
### コメント



### ○業況判断DI～上昇↑

- ・今期は17.8と前期から3.3ポイント上昇した。
- ・来期は今期から14.4ポイント低下する見通し。

## 売上・収益DIの推移



### コメント



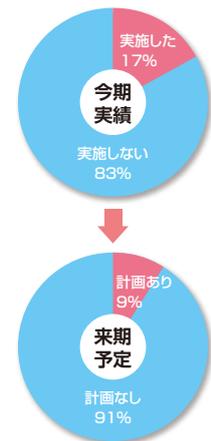
### ○売上DI～低下↓

- ・今期は20.5と前期から19.6ポイント低下した。
- ・来期は今期から12.3ポイント低下する見通し。

### ○収益DI～低下↓

- ・今期は7.4と前期から15.5ポイント低下した。
- ・来期は今期から9.0ポイント低下する見通し。

## 設備投資動向



(%)

経営上の問題点(複数回答)	今期	前期
人手不足	40.0	40.0
原材料高	35.2	31.4
利幅の縮小	28.6	28.6

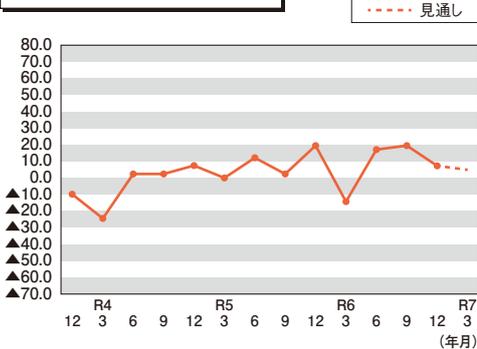
(%)

当面の重点施策(複数回答)	今期	前期
経費を節減する	53.3	54.3
人材を確保する	40.0	37.1
販路を広げる	21.0	25.7

# 製造業

## 札幌圏 (調査数41社・回答数41社・回答率100%)

### 業況判断DIの推移



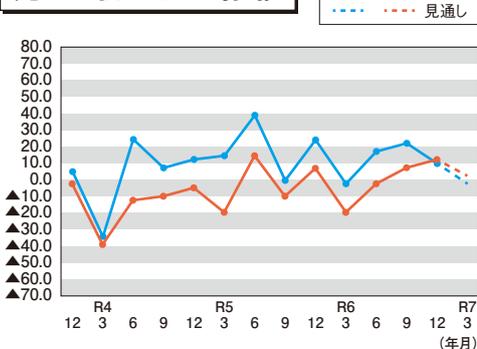
コメント



### ○業況判断DI～低下↓

- ・今期は7.3と前期から12.2ポイント低下した。
- ・来期は今期から2.4ポイント低下する見通し。

### 売上・収益DIの推移



コメント



### ○売上DI～低下↓

- ・今期は9.8と前期から12.2ポイント低下した。
- ・来期は今期から12.2ポイント低下する見通し。

### ○収益DI～上昇↑

- ・今期は12.2と前期から4.9ポイント上昇した。
- ・来期は今期から9.8ポイント低下する見通し。

### 企業のコメント

・骨付きソーセージ、ベーコン  
コロナ以降、売上低下傾向。大手メーカーの価格競争や、原材料高騰、人件費増大等により収益減退。価格転嫁は進めているが、販売先増加による増収が喫緊の課題。

・鉄筋工事  
業況は良好に推移。だが、人材確保には苦戦しており、リクルート会社などインターンを利用した人材確保に取り組んでいる。

### 経営上の問題点(複数回答)(%)

原材料高	43.9
人件費の増加	26.8
人手不足	24.4

### 当面の重点施策(複数回答)(%)

経費を節減する	51.2
販路を広げる	36.6
人材を確保する	36.6

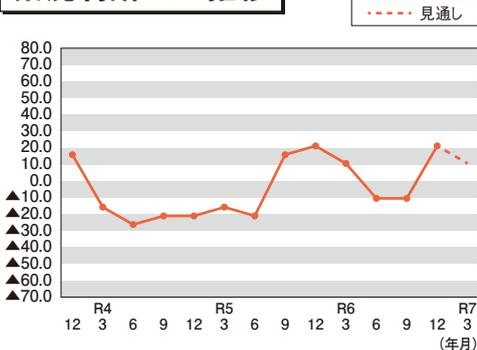
### 設備投資動向(%)

今期設備投資を実施した	19.5
今後3ヶ月以内に設備投資の計画あり	7.3

(不動産、機械、事務機器、車両等)

## 後志圏 (調査数19社・回答数19社・回答率100%)

### 業況判断DIの推移



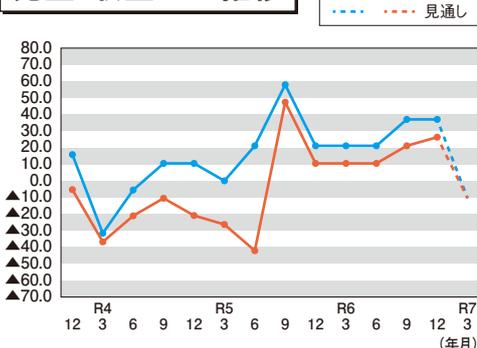
コメント



### ○業況判断DI～上昇↑

- ・今期は21.1と前期から31.6ポイント上昇した。
- ・来期は今期から10.6ポイント低下する見通し。

### 売上・収益DIの推移



コメント



### ○売上DI～横ばい→

- ・今期は36.8と前期から横ばいとなった。
- ・来期は今期から47.3ポイント低下する見通し。

### ○収益DI～上昇↑

- ・今期は26.3と前期から5.2ポイント上昇した。
- ・来期は今期から36.8ポイント低下する見通し。

### 企業のコメント

・小女子加工品  
ふるさと納税の返礼品、オンラインショッピングの受注が増えたことにより売上が増加した一方、不漁の影響を受け原材料価格が高騰しており利益を圧迫している。

・オブラート  
原材料価格の上昇が続いており、資金繰りが円滑とは言えない状況。大手菓子メーカー等新たな取引先を模索し業況改善に努めていく。

### 経営上の問題点(複数回答)(%)

原材料高	68.4
利幅の縮小	31.6
人手不足	26.3

### 当面の重点施策(複数回答)(%)

経費を節減する	63.2
販路を広げる	47.4
人材を確保する	42.1

### 設備投資動向(%)

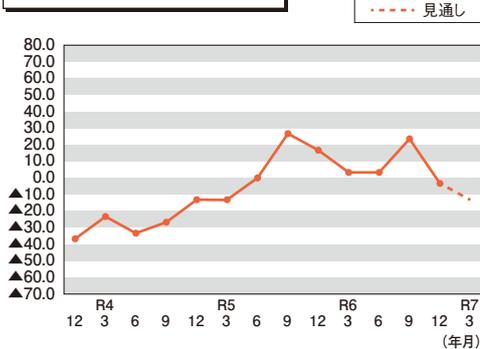
今期設備投資を実施した	15.8
今後3ヶ月以内に設備投資の計画あり	5.3

(不動産、機械、事務機器、車両等)

# 卸売業

## 札幌圏 (調査数30社・回答数30社・回答率100%)

### 業況判断DIの推移



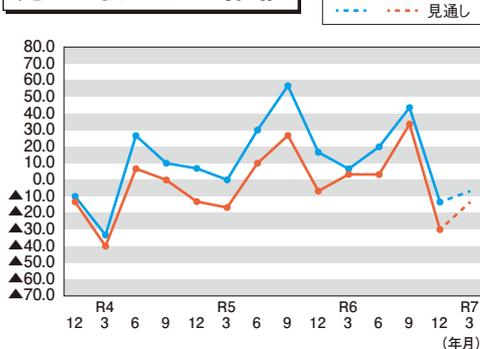
コメント



### ○業況判断DI～低下↓

- ・今期は▲3.3と前期から26.6ポイント低下した。
- ・来期は今期から10.0ポイント低下する見通し。

### 売上・収益DIの推移



コメント



### ○売上DI～低下↓

- ・今期は▲13.3と前期から56.6ポイント低下した。
- ・来期は今期から6.6ポイント上昇する見通し。

### ○収益DI～低下↓

- ・今期は▲30.0と前期から63.3ポイント低下した。
- ・来期は今期から16.7ポイント上昇する見通し。

### 企業のコメント

#### ・飲料、乾物

大手スーパーとの価格競争の影響で、売上、利幅ともに年々縮小傾向にあり苦戦が続いている。新たな販売先を探すも、すぐには見つからず資金繰りも悪化してきている。

#### ・豚、鳥、牛肉

飲食店へ食肉の卸売を行っている。コロナ禍の影響が徐々に改善し卸高は回復基調にあるが、仕入価格が上昇しており収益性に変化は少ない。

### 経営上の問題点(複数回答)(%)

売上の停滞・減少	40.0
同業者間の競争激化	30.0
人手不足	26.7

### 当面の重点施策(複数回答)(%)

販路を広げる	73.3
経費を節減する	46.7
人材を確保する	30.0

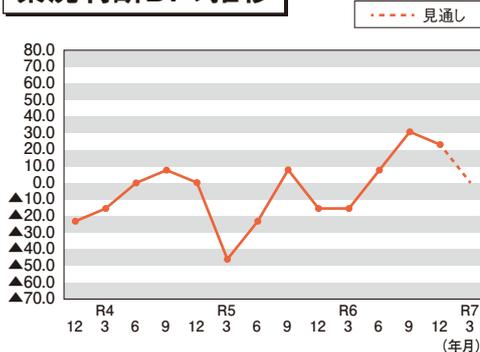
### 設備投資動向(%)

今期設備投資を実施した	10.0
今後3ヶ月以内に設備投資の計画あり	6.7

(不動産、機械、事務機器、車両等)

## 後志圏 (調査数13社・回答数13社・回答率100%)

### 業況判断DIの推移



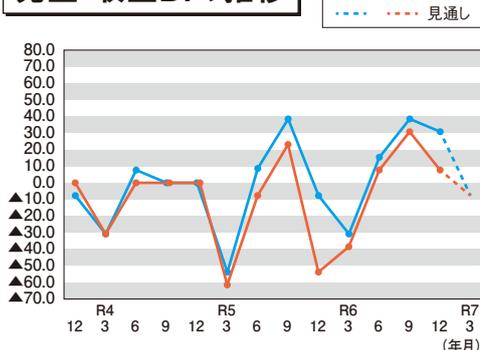
コメント



### ○業況判断DI～低下↓

- ・今期は23.1と前期から7.7ポイント低下した。
- ・来期は今期から23.1ポイント低下する見通し。

### 売上・収益DIの推移



コメント



### ○売上DI～低下↓

- ・今期は30.8と前期から7.7ポイント低下した。
- ・来期は今期から38.5ポイント低下する見通し。

### ○収益DI～低下↓

- ・今期は7.7と前期から23.1ポイント低下した。
- ・来期は今期から15.4ポイント低下する見通し。

### 企業のコメント

#### ・事務機器、用品

OA機器や事務用品は随時仕入価格が上昇するも、販売価格への転嫁が追い付かず粗利は低下している。

#### ・木材卸

建築、リフォームとも件数が減少している。冬場は動きがさらに減ることが予想され、厳しい時期が続くそう。

### 経営上の問題点(複数回答)(%)

売上の停滞・減少	30.8
利幅の縮小	30.8
人手不足	23.1

### 当面の重点施策(複数回答)(%)

経費を節減する	61.5
販路を広げる	38.5
情報力を強化する	30.8

### 設備投資動向(%)

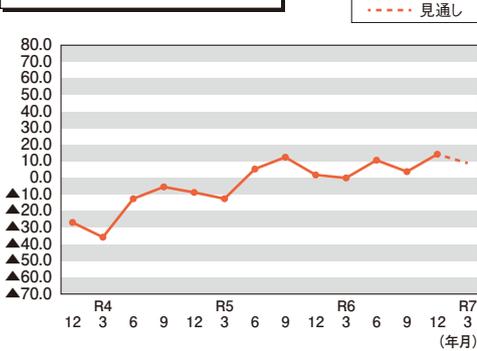
今期設備投資を実施した	15.4
今後3ヶ月以内に設備投資の計画あり	7.7

(不動産、機械、事務機器、車両等)

# 小売業

## 札幌圏 (調査数56社・回答数56社・回答率100%)

### 業況判断DIの推移



#### コメント



#### ○業況判断DI～上昇↑

- ・今期は14.3と前期から10.7ポイント上昇した。
- ・来期は今期から5.4ポイント低下する見通し。

### 企業のコメント

#### ・米販売

米不足の影響で仕入が少なくなり店舗在庫も不足気味。常連客へ優先しての販売で凌いだ。米価が上がりに伴い販売価格も上昇。スーパーとの競争になるものの、一定の固定客がいるため不安は感じていない。

#### ・燃料販売

燃料に対する補助金の終了や、新総裁、米国新大統領の政策等、今後のエネルギー業界の動向に注視する必要があると考えている。

#### 経営上の問題点(複数回答)(%)

人手不足	35.7
利幅の縮小	30.4
人件費の増加	25.0

#### 当面の重点施策(複数回答)(%)

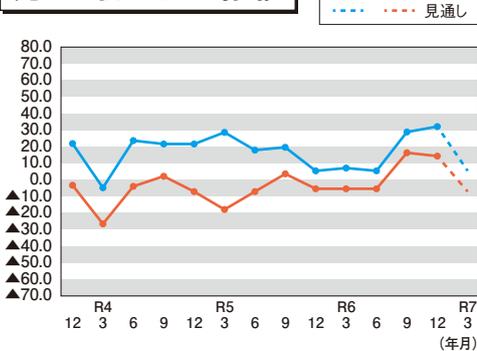
経費を節減する	51.8
人材を確保する	35.7
宣伝・広告を強化する	28.6

#### 設備投資動向(%)

今期設備投資を実施した	10.7
今後3ヶ月以内に設備投資の計画あり	10.7

(不動産、機械、事務機器、車両等)

### 売上・収益DIの推移



#### コメント



#### ○売上DI～上昇↑

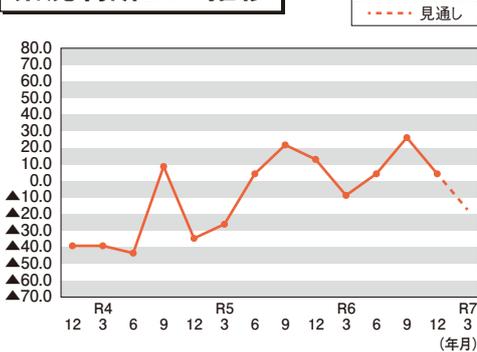
- ・今期は32.1と前期から3.5ポイント上昇した。
- ・来期は今期から26.7ポイント低下する見通し。

#### ○収益DI～低下↓

- ・今期は14.3と前期から1.8ポイント低下した。
- ・来期は今期から21.4ポイント低下する見通し。

## 後志圏 (調査数23社・回答数23社・回答率100%)

### 業況判断DIの推移



#### コメント



#### ○業況判断DI～低下↓

- ・今期は4.3と前期から21.8ポイント低下した。
- ・来期は今期から21.7ポイント低下する見通し。

### 企業のコメント

#### ・鮮魚、生鮮食品販売

来春にオープンする古平町の「道の駅」開業により、町外からの来店客増加に期待している。

#### ・ガソリン、灯油

補助金の関係から石油の販売価格は安定しているが、車両の低燃費化により特にガソリンの販売量は減少している。

#### 経営上の問題点(複数回答)(%)

商圏人口の減少	52.2
利幅の縮小	30.4
人手不足	26.1

#### 当面の重点施策(複数回答)(%)

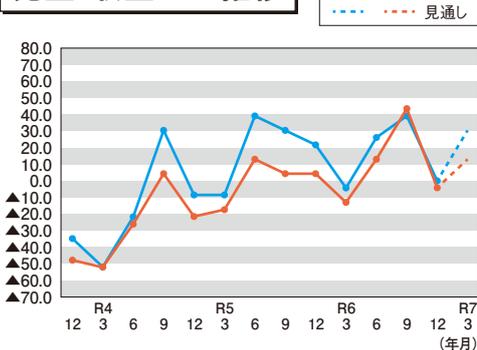
経費を節減する	43.5
人材を確保する	21.7
品揃えを充実する	17.4

#### 設備投資動向(%)

今期設備投資を実施した	17.4
今後3ヶ月以内に設備投資の計画あり	8.7

(不動産、機械、事務機器、車両等)

### 売上・収益DIの推移



#### コメント



#### ○売上DI～低下↓

- ・今期は0.0と前期から39.1ポイント低下した。
- ・来期は今期から30.4ポイント上昇する見通し。

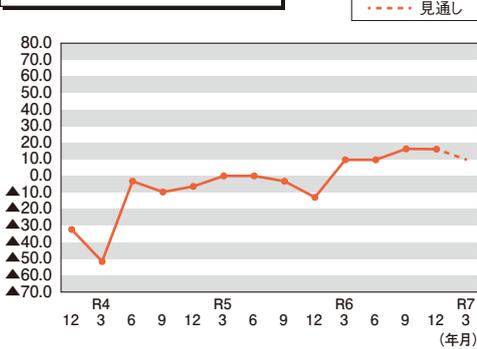
#### ○収益DI～低下↓

- ・今期は▲4.3と前期から47.8ポイント低下した。
- ・来期は今期から17.3ポイント上昇する見通し。

# サービス業

## 札幌圏 (調査数31社・回答数31社・回答率100%)

### 業況判断DIの推移



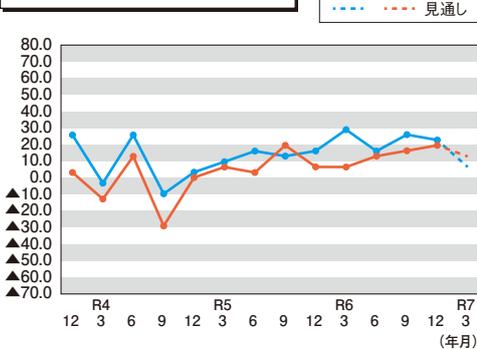
コメント



### ○業況判断DI～横ばい→

- ・今期は16.1と前期から横ばいとなった。
- ・来期は今期から6.4ポイント低下する見通し。

### 売上・収益DIの推移



コメント



### ○売上DI～低下↓

- ・今期は22.6と前期から3.2ポイント低下した。
- ・来期は今期から16.1ポイント低下する見通し。

### ○収益DI～上昇↑

- ・今期は19.4と前期から3.3ポイント上昇した。
- ・来期は今期から6.5ポイント低下する見通し。

### 企業のコメント

#### ・教育、学習支援業

保育業界は少子化と保育施設の増加により、顧客確保の難しさが増している。児童数の定員割れや経営難の保育園が顕在化しているため、自社では経営統合を積極的に行っていく方針でいる。

#### ・宿泊業

人手不足が深刻な問題となっている。サービス低下を防ぐため、少ない人員で業務をこなせるように工夫している状況。

### 経営上の問題点(複数回答)(%)

人手不足	38.7
材料価格の上昇	38.7
人件費の増加	35.5

### 当面の重点施策(複数回答)(%)

経費を節減する	58.1
販路を広げる	45.2
人材を確保する	29.0

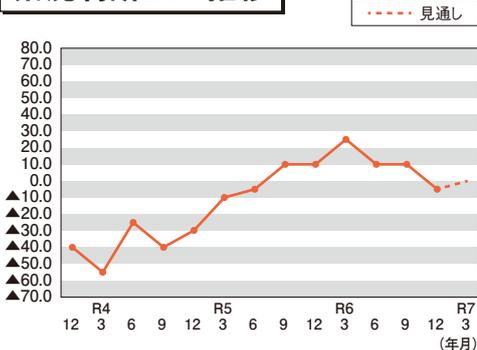
### 設備投資動向(%)

今期設備投資を実施した	29.0
今後3ヶ月以内に設備投資の計画あり	22.6

(不動産、機械、事務機器、車両等)

## 後志圏 (調査数20社・回答数20社・回答率100%)

### 業況判断DIの推移



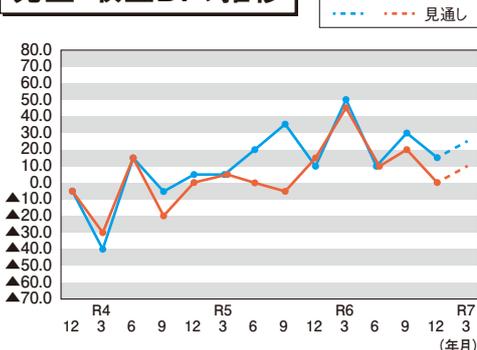
コメント



### ○業況判断DI～低下↓

- ・今期は▲5.0と前期から15.0ポイント低下した。
- ・来期は今期から5.0ポイント上昇する見通し。

### 売上・収益DIの推移



コメント



### ○売上DI～低下↓

- ・今期は15.0と前期から15.0ポイント低下した。
- ・来期は今期から10.0ポイント上昇する見通し。

### ○収益DI～低下↓

- ・今期は0.0と前期から20.0ポイント低下した。
- ・来期は今期から10.0ポイント上昇する見通し。

### 企業のコメント

#### ・宿泊、仕出し、宴会

工事関係者の宿泊が多く客室稼働率は良好。1月以降は新年会など各種宴会の受注も見込まれ、今後も順調に推移するものと予想している。

#### ・宿泊業

宿泊税(町税)が10月から導入されたものの対応は順調。設備更新なども今年はしばしば行い、冬のスキーリゾートシーズンに備えている。

### 経営上の問題点(複数回答)(%)

材料価格の上昇	50.0
人手不足	45.0
利幅の縮小	40.0

### 当面の重点施策(複数回答)(%)

経費を節減する	60.0
人材を確保する	45.0
宣伝・広告を強化する	40.0

### 設備投資動向(%)

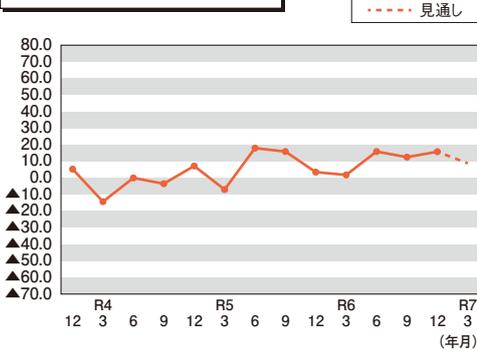
今期設備投資を実施した	20.0
今後3ヶ月以内に設備投資の計画あり	10.0

(不動産、機械、事務機器、車両等)

# 建設業

## 札幌圏 (調査数57社・回答数57社・回答率100%)

### 業況判断DIの推移



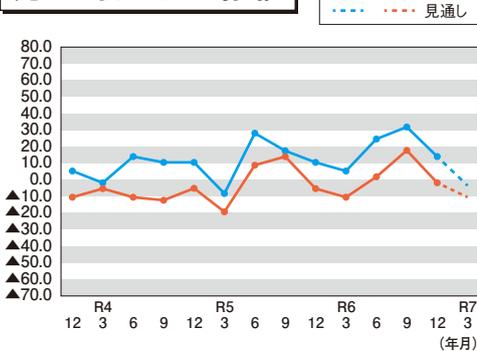
### コメント



### ○業況判断DI～上昇↑

- ・今期は15.8と前期から3.5ポイント上昇した。
- ・来期は今期から7.0ポイント低下する見通し。

### 売上・収益DIの推移



### コメント



### ○売上DI～低下↓

- ・今期は14.0と前期から17.6ポイント低下した。
- ・来期は今期から17.5ポイント低下する見通し。

### ○収益DI～低下↓

- ・今期は▲1.8と前期から19.3ポイント低下した。
- ・来期は今期から8.7ポイント低下する見通し。

### 企業のコメント

#### ・土木

大型工事があり売上は増加しているが、人員が不足しているため外注(下請)で対応している。また、新しい機械を導入したいがそれに見合う受注が見込めないため、積極的な投資を控えている。

#### ・建設型枠工事

人材確保の取組で、外国人労働者の受入に注力しているため当面の間は人材不足は避けられる。そのことが積極受注に繋がっている。

### 経営上の問題点(複数回答)(%)

材料価格の上昇	54.4
人手不足	50.9
売上の停滞・減少	22.8

### 当面の重点施策(複数回答)(%)

経費を節減する	57.9
人材を確保する	54.4
販路を広げる	29.8

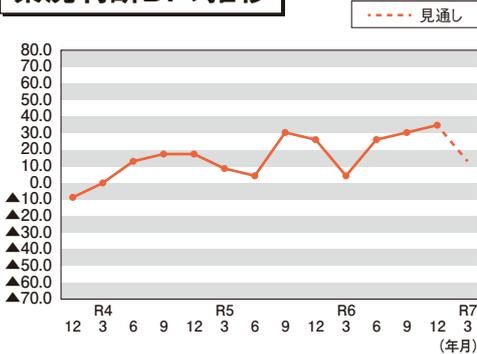
### 設備投資動向(%)

今期設備投資を実施した	21.1
今後3ヶ月以内に設備投資の計画あり	19.3

(不動産、機械、事務機器、車両等)

## 後志圏 (調査数23社・回答数23社・回答率100%)

### 業況判断DIの推移



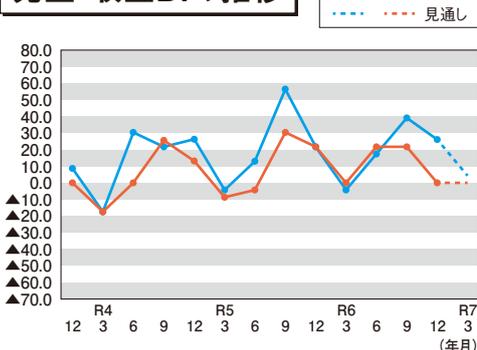
### コメント



### ○業況判断DI～上昇↑

- ・今期は34.8と前期から4.4ポイント上昇した。
- ・来期は今期から21.8ポイント低下する見通し。

### 売上・収益DIの推移



### コメント



### ○売上DI～低下↓

- ・今期は26.1と前期から13.0ポイント低下した。
- ・来期は今期から21.8ポイント低下する見通し。

### ○収益DI～低下↓

- ・今期は0.0と前期から21.7ポイント低下した。
- ・来期は0.0ポイントと横ばいの見通し。

### 企業のコメント

#### ・とび、大工工事

職人募集も海外実習生に頼っている状況である。外注費も増加しており人員の確保が課題。

#### ・防水工事業

人材確保に厳しい状況が継続し、若年層が建設業界を敬遠していることが伺える。受注環境は良好であるが材料費の高騰が悩みの種。

### 経営上の問題点(複数回答)(%)

人手不足	69.6
材料価格の上昇	60.9
下請の確保難	21.7

### 当面の重点施策(複数回答)(%)

人材を確保する	69.6
経費を節減する	47.8
技術力を高める	26.1

### 設備投資動向(%)

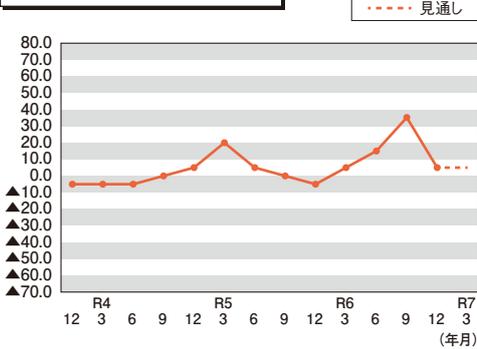
今期設備投資を実施した	17.4
今後3ヶ月以内に設備投資の計画あり	13.0

(不動産、機械、事務機器、車両等)

# 不動産業

## 札幌圏 (調査数20社・回答数20社・回答率100%)

### 業況判断DIの推移



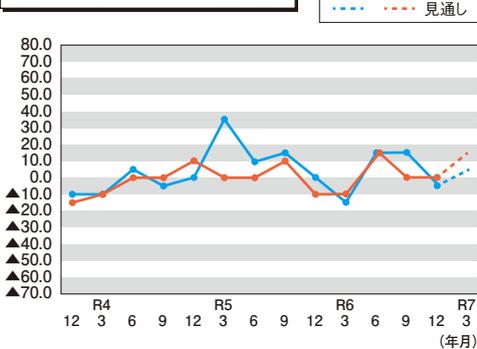
### コメント



#### ○業況判断DI～低下↓

- ・今期は5.0と前期から30.0ポイント低下した。
- ・来期は5.0ポイントと横ばいの見通し。

### 売上・収益DIの推移



### コメント



#### ○売上DI～低下↓

- ・今期は▲5.0と前期から20.0ポイント低下した。
- ・来期は今期から10.0ポイント上昇する見通し。

#### ○収益DI～横ばい→

- ・今期は0.0と前期から横ばいとなった。
- ・来期は今期から15.0ポイント上昇する見通し。

### 企業のコメント

#### ・不動産売買

現在、不動産価格が高騰しており加えて土地代も高いため、2年間くらいは厳しい状況が続くそう。ハウスメーカーと違い不動産売買とモデル型住宅の販売をすることで耐え忍んでいきたい。

#### ・不動産売買

地価上昇やマンションの価格上昇などで住宅購入を希望する人が減少していることもあり、売上は伸び悩み。新事業を始めることも視野に入れ始めている。

#### 経営上の問題点(複数回答)(%)

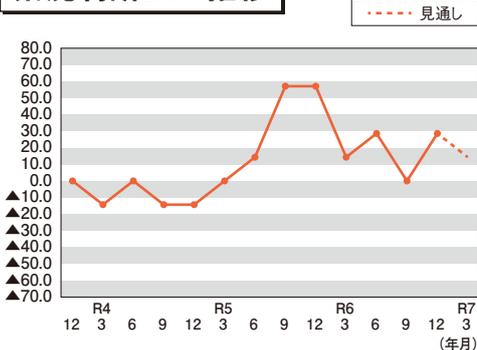
商品物件の高騰	55.0
問題なし	30.0
売上の停滞・減少	25.0

#### 当面の重点施策(複数回答)(%)

販路を広げる	40.0
情報力を強化する	30.0
特になし	25.0

## 後志圏 (調査数7社・回答数7社・回答率100%)

### 業況判断DIの推移



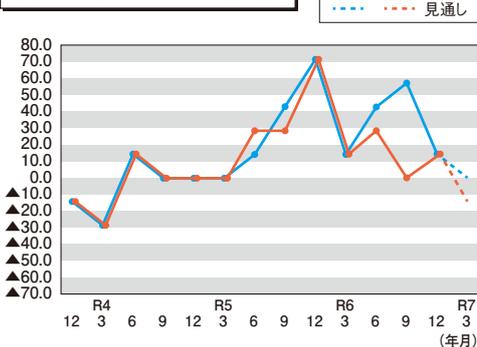
### コメント



#### ○業況判断DI～上昇↑

- ・今期は28.6と前期から28.6ポイント上昇した。
- ・来期は今期から14.3ポイント低下する見通し。

### 売上・収益DIの推移



### コメント



#### ○売上DI～低下↓

- ・今期は14.3と前期から42.8ポイント低下した。
- ・来期は今期から14.3ポイント低下する見通し。

#### ○収益DI～上昇↑

- ・今期は14.3と前期から14.3ポイント上昇した。
- ・来期は今期から28.6ポイント低下する見通し。

### 企業のコメント

#### ・不動産賃貸業

業界はインバウンド景気の後押しにより好調に推移しており、今後も大型ホテルの建設が予定されていることからさらに需要は高まっていくと思われる。

#### ・不動産

仲介料の最低価格が引き上げられたことにより売上は増加するも、市場商品の高騰により利益率は下降しているため商品の選定が重要となっている。特に都市部で価格上昇が顕著。また金利の上昇により、個人住宅の動向が今後大きく影響すると思われる。

#### 経営上の問題点(複数回答)(%)

人手不足	42.9
商品物件の不足	42.9
商品物件の高騰	42.9

#### 当面の重点施策(複数回答)(%)

情報力を強化する	71.4
経費を節減する	42.9
宣伝・広告を強化する	42.9

# 特別調査

## 「2025年(令和7年)の経営見通し」

回答数340社(札幌圏・後志圏) 回答率100%

### 問1

貴社では、2025年の日本の景気をどのように見通していますか。  
次の中から1つ選んでお答えください。

2025年の日本の景気見通し	製造	卸売	小売	サービス	建設	不動産	総合
1. 非常によい	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	1.3%	0.0%	0.3%
2. 良い	1.7%	0.0%	0.0%	2.0%	0.0%	0.0%	0.6%
3. やや良い	8.3%	14.0%	5.1%	9.8%	8.8%	11.1%	8.8%
4. 普通	48.3%	34.9%	41.8%	45.1%	45.0%	33.3%	42.6%
5. やや悪い	36.7%	39.5%	30.4%	29.4%	35.0%	40.7%	34.4%
6. 悪い	5.0%	11.6%	21.5%	13.7%	8.8%	14.8%	12.6%
7. 非常に悪い	0.0%	0.0%	1.3%	0.0%	1.3%	0.0%	0.6%

### 問2

貴社では、2025年の自社の業況(景気)をどのように見通していますか。  
次の中から1つ選んでお答えください。

2025年の自社の業況(景気)見通し	製造	卸売	小売	サービス	建設	不動産	総合
1. 非常によい	0.0%	2.3%	0.0%	0.0%	1.3%	0.0%	0.6%
2. 良い	1.7%	4.7%	2.5%	2.0%	3.8%	0.0%	2.6%
3. やや良い	10.0%	11.6%	8.9%	19.6%	11.3%	18.5%	12.4%
4. 普通	68.3%	44.2%	64.6%	54.9%	67.5%	59.3%	61.5%
5. やや悪い	20.0%	27.9%	17.7%	15.7%	15.0%	22.2%	18.8%
6. 悪い	0.0%	9.3%	6.3%	7.8%	1.3%	0.0%	4.1%
7. 非常に悪い	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%

### 問3

2025年において貴社の売上額の伸び率は、2024年に比べておおよそどのくらいになると見通していますか。次の中から1つ選んでお答えください。

2025年において貴社の売上額の伸び率	製造	卸売	小売	サービス	建設	不動産	総合
1. 30%以上の増加	0.0%	4.7%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.6%
2. 20~29%の増加	0.0%	0.0%	1.3%	3.9%	0.0%	0.0%	0.9%
3. 10~19%の増加	5.0%	9.3%	3.8%	5.9%	10.0%	14.8%	7.4%
4. 10%未満の増加	45.0%	30.2%	25.3%	39.2%	26.3%	22.2%	31.5%
5. 変わらない	45.0%	30.2%	58.2%	43.1%	52.5%	48.1%	47.9%
6. 10%未満の減少	5.0%	20.9%	8.9%	7.8%	11.3%	14.8%	10.6%
7. 10~19%の減少	0.0%	4.7%	1.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.9%
8. 20~29%の減少	0.0%	0.0%	1.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.3%
9. 30%以上の減少	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%

## 問4

貴社では、自社の業況が上向き転換点をいつ頃になると見通していますか。  
次の中から1つ選んでお答えください。

自社の業況が上向き転換点はいつ頃になるか	製造	卸売	小売	サービス	建設	不動産	総合
1. すでに上向いている	28.3%	30.2%	17.7%	29.4%	36.3%	44.4%	29.4%
2. 6か月以内	10.0%	7.0%	3.8%	7.8%	6.3%	3.7%	6.5%
3. 1年後	15.0%	18.6%	16.5%	11.8%	20.0%	14.8%	16.5%
4. 2年後	6.7%	11.6%	15.2%	3.9%	7.5%	14.8%	9.7%
5. 3年後	11.7%	7.0%	6.3%	13.7%	11.3%	7.4%	9.7%
6. 3年超	8.3%	7.0%	15.2%	9.8%	6.3%	0.0%	8.8%
7. 業況改善の見通しは立たない	20.0%	18.6%	25.3%	23.5%	12.5%	14.8%	19.4%

0 5 10 15 20 25 30

## 問5

脱炭素化への取組み(具体的な例は下の枠の中をご覧ください。)についてお伺いします。  
貴社は、脱炭素化に向けて、信用金庫業界に対して期待する取組みはありますか。1～8の中から最も当てはまるものを1つ選んでお答えください。  
また、貴社は、信用金庫業界が地域のために積極的に下の枠の取組みを行っていることを知っていますか。9・10のどちらか1つを選んでお答えください。

	製造	卸売	小売	サービス	建設	不動産	総合
信用金庫業界に期待する取組み							
1. 事例の紹介	33.3%	16.3%	25.3%	17.6%	28.8%	48.1%	27.1%
2. 行政からの支援内容の紹介	6.7%	9.3%	11.4%	15.7%	7.5%	0.0%	9.1%
3. CO2排出量の算出	3.3%	2.3%	5.1%	0.0%	1.3%	0.0%	2.4%
4. 省エネ診断	0.0%	0.0%	3.8%	3.9%	3.8%	0.0%	2.4%
5. 削減計画の策定	3.3%	0.0%	0.0%	3.9%	1.3%	0.0%	1.5%
6. 設備導入支援	26.7%	20.9%	7.6%	11.8%	13.8%	7.4%	14.7%
7. サステナブルファイナンス	1.7%	4.7%	2.5%	3.9%	0.0%	0.0%	2.1%
8. 特にない	25.0%	46.5%	44.3%	43.1%	43.8%	44.4%	40.9%
信用金庫業界の取組み状況							
9. 知っている	26.7%	16.3%	10.1%	29.4%	26.3%	14.8%	20.9%
10. 知らない	73.3%	83.7%	89.9%	70.6%	73.8%	85.2%	79.1%

0 10 20 30 40 50 60 70 80

### 脱炭素に向けた 取組みの事例

- **情報提供** …… コスト削減事例の紹介、行政からの支援内容の紹介
- **現状把握** …… CO2排出量の算出サービスの紹介
- **計画策定** …… 省エネ診断の紹介、CO2排出量削減計画の策定支援
- **対策実行** …… LED・高効率空調・太陽光発電の導入支援
- **資金供給** …… サステナブルファイナンス(SDGs・脱炭素化対応融資)